

## 授業科目

## 命の倫理

担当教員名 金谷 光子	対象学年	1	対象学科	スポ・社会（介護福祉コース除く）・情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

## 授業の概要

本授業の概要は、保健医療福祉に携わるものとして、特に基本となる生命および人権の尊重について焦点を当て、自他の命のあり方や人権を深く考えられるような事例を多用した授業（脳死・臓器移植、尊厳死・安楽死、代理母、児童虐待）内容である。

## 授業の目的

本授業の目的は、保健医療福祉に携わるものとして、特に基本となる生命および人権の尊重、かつ、自他の命や人権を深く考えられるような態度を育成することを目的とする。

## 学習目標

1. 人の命をどのように受けとめているのかについて、自己の考え方を述べる事が出来る。
2. 命の倫理に関して、現在社会で起こっている状況について列挙できる。
3. 保健医療福祉における命の倫理に関わる諸問題について説明することが出来る。
4. 事例を通して、脳死・臓器移植、尊厳死、代理母、児童虐待について自己の考え方を述べる事が出来る。
5. 人間の尊厳と自律についての考えを深める。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	命とは・倫理とは：現代社会のトピックスを通して概観	講義	金谷 光子
2	命の倫理に関する様々な諸問題：脳死・臓器移植・インフォームド・コンセント等	講義	金谷 光子
3	保健医療福祉における命の扱われ方：安楽死問題について	講義	金谷 光子
4	代理母について：生殖医療の在り方を考える	講義	金谷 光子
5	児童虐待と専門家の関わりについて	講義	金谷 光子
6	保健医療福祉における現代の倫理的トピックス	講義・演習	金谷 光子
7	上記の4つのテーマから参加学生が選択した内容でディベート		金谷 光子
8	まとめ		金谷 光子

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	医療現場に臨む哲学	清水哲郎	勁草書房	1997年	2,400円+税	
	テーマ30 生命倫理	大谷いづみ	教育出版	2008年	857円+税	
	自己決定の倫理と「私たち」の自由	小柳正弘	ナカニシヤ出版		2,400円+税	
	医療現場に臨む哲学	清水哲郎	keiso syobou	2006年	2,200円+税	
その他の資料						

## 評価方法

発言およびテスト

## 履修上の留意点

授業最終日800字以内で命の倫理に関する自己の見解を書く。  
※時間割で指定されたクラスで受講すること。

## オフィスアワー・連絡先

毎週火曜日 13時10分～14時40分  
毎週火曜日 18時～